

25番	長江 秀幸 議員		
項目	令和4年度予算大綱説明と市政運営の基本方針について		項目
<p>(要旨)</p> <p>1 本市の経済動向と予算編成について</p> <p>(1) 国、県の経済動向をどのように把握しているのか伺う。</p> <p>(2) 本市の経済動向をどのように分析し、予算に反映したのか伺う。</p> <p>(3) 一般会計の予算額は前年度から11億4000万円増えて401億6000万円。小学校跡地売却や、コロナ禍でも予想より落ち込みが少なかった市税の収入見込み分を含み、過去2番目の規模となっている。市民と協働した地域の活性化に重点を置いた感があるが、総合計画を加速させる、或いは再スタートをきるに十分な予算編成となっているのか伺う。</p> <p>(4) 一般会計歳入の内訳で、市税のうち個人税が前年度比でプラス6.2%の約4億4000万円増、法人税が同51.9%の約3億7000万円増とした。先にも触れたが、旧祖母懐小学校解体後の売却分を中心とする財産収入で約4億5000万円増を見込んでいるが、原資の確保についてはどのように対応していくのか伺う。</p>		<p>(要旨)</p> <p>2 新型コロナウイルス感染症対策について</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症に関してまだまだ収束が見えない中、本市はこれまでも多くの事業に取り組んできたが、どのように評価しているのか、また、ワクチンの3回目接種等も始まっているが、今後の感染症対策について伺う。</p> <p>(2) 公共施設、小中学校、保育園等における検温器、換気設備、網戸、自動水栓等の整備についての現状と今後の対応について伺う。</p> <p>3 第6次瀬戸市総合計画の将来像の実現について</p> <p>(1) 総合計画は策定から5年が経過し、6年目を迎えるが、この5年についてはどのように分析し評価しているのか、また、後半のスタートとなる令和4年度、どのように取り組んでいくのか決意を伺う。</p> <p>(2) 人口については、社会増を上回る自然減の傾向が続いているが、子育て世帯の転入増加の取り組み等の現状と今後の取り組みについて伺う。</p> <p>(3) SDGsの視点を意識し、中期事業計画を始め各計画にも反映してきている。そして全庁的にも理解を深めてきているが、学校教育における取り組み、商工会議所、民間企業等の連携についての取り組みの検討状況について伺う。</p>	

25番		長江 秀幸 議員	
項目		項目	
(要旨)	<p>(4) 国においては、SDGs達成に向けた企業・団体等の取り組みを促し、オールジャパンの取り組みを推進するために、2017年6月の第3回SDGs推進本部において創設が決定された「ジャパンSDGsアワード」という表彰する場がある。また、愛知県においては、SDGs達成に向けた取り組みを加速するため、「SDGs AICHI EXPO 2022」を開催するなど、一層の普及啓発を行うとともに、SDGs環境プラットフォーム構築を始めとする環境面からの取り組みも推進するが、本市はどのように絡んでいくのか伺う。</p> <p>(5) 先端デジタル技術を取り入れた、DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進という、新たな取り組みに着手していくが、令和4年度の取り組みが重要になってくると考える。目指すところをどのように考え、その目標に向かってどのように取り組んでいくのか伺う。</p> <p>(6) 本年秋にジブリパークの3エリアが開園することを見据え、愛・地球博で掲げた「自然の叡智」という理念を継承しつつ、ジブリの素晴らしい世界観を共有し、将来像の実現に向け力強く進んでいくということだが、具体的にどのように取り組んでいくのか伺う。</p>	(要旨)	<p>4 都市像「活力ある地域経済と豊かな暮らしを実感できるまち」について</p> <p>(1) 地域産業の振興と人材の活躍促進について</p> <p>① これまでも市長自らが先頭に立ち企業誘致や地域産業の振興に取り組んでこられたが、その成果と今後の取り組みについて伺う。</p> <p>② 「産業支援センターせと」を中心とした市内企業の支援体制については、IT、AI等に精通したコーディネーターを配置し、生産性の向上、高付加価値化などに重点を置いた取り組みをしてきたが、その成果と今後の取り組みについて伺う。</p> <p>③ 愛知県の事業に、窯業の産地へ海外バイヤーを招へいし、マッチングを実施する事業、伝統工芸産業の振興として、海外バイヤーとのオンライン商談会による新たな販路開拓の促進を図る事業、伝統工芸品産地企業に対し、マーケティングの専門家による新商品開発等を支援する事業等があるが、本市の対応はどのようなか伺う。</p> <p>④ 農業振興については、「瀬戸で作る、瀬戸で食べる」を目標として、学校給食への地元農畜産物を提供する体制の構築、安心・安全な農畜産物の供給及び加工品の開発により、地元農畜産物の消費拡大に取り組んできた結果、道の駅瀬戸しなのの開設時に比べ、農業産出額を増加してきたが、今後新たな取り組みは何か考えているのか。</p>

25番		長江 秀幸 議員	
項目		項目	
(要旨)	<p>(2) 年齢や性別にかかわらず、働くことや起業・創業に挑戦できるまちづくりについて</p> <p>①せと・しごと塾については、創業者の輩出や市内における創業への機運を高めることを目的として行っており多くの方が卒塾をし、開業に至っている。支援メニューの強化等、取り組んでいると思うが、今後どのように取り組んでいくのか伺う。</p> <p>②せと・しごと塾をはじめとする創業支援やツクリテ支援、中心市街地商店街に出店する方への開業支援など、事業の相乗効果によって中心市街地商店街への出店希望者は増加傾向にある。新たに利用できる店舗の掘り起こしを瀬戸まちづくり株式会社と連携し進めているが、現状と今後の取り組みについて伺う。</p> <p>③ワンストップ窓口機能、コーディネート機能、コミュニティ・サロン機能、ギャラリー機能の4つの機能をもつ「せとまちツクリテセンター」もオープンして5年が経過しようとしている。当初は相談業務を中心にセンター主導でイベント等を行っていたが、今では、センターを介してツクリテ同士の交流が盛んになり、ツクリテ主催によるユーチューブ動画「ツクリテチャンネル」の制作、配信、また新たなイベント等が企画、運営されているということである。ツクリテの市内定着、育成と地域の賑わいを創出するため、支援に取り組んでいくが、登録者の反応と具体的取り組みについて伺う。</p>	(要旨)	<p>(3) 地域経済の活性化につながる地域資源を活かしたシティプロモーションの展開について</p> <p>①アフターコロナを見据え、せと・まるっとミュージアム観光推進アクションプランに基づいて、さらなる観光誘客、地域経済の活性化に取り組んでいるが、その成果と今後の取り組みについて伺う。</p> <p>②本年は磁祖加藤民吉翁生誕250年、秋にはジブリパークも開園するが、これらの絶好のチャンスをどのように活かし、本市の魅力発信、観光の戦略につなげていくのか伺う。</p> <p>③シティプロモーションに係るアクションプランについては、市民をはじめ、本市の近郊の子育て世代をターゲットとし、ウェブや定住促進パンフレットなど各種媒体の活用を図り、数年先を見通した戦略的な取り組みを計画してきたと思うが、引き続きの取り組みになるのか、何か新たな戦略が加わるのか伺う。</p> <p>④ふるさと納税の推進に当たっては、瀬戸の魅力を感じていただける返礼品の充実とともに、効果的なプロモーションが必要となってくるが、どのように取り組んで行くのか伺う。</p>

25番		長江 秀幸 議員	
項目		項目	
(要旨)	<p>(4) 市民生活の利便性を高め、企業活動の活性化につながる都市基盤の整備について</p> <p>①市民生活の利便性を高めるには、幹線道路、アクセス道路等の整備は欠かせないが、本年度の整備内容を具体的に伺う。また今後の計画、方針についても伺う。</p> <p>②先の第6次瀬戸市総合計画の将来像の実現の箇所でも触れたが、DXを積極的に推進し、新たな時代の商工、観光をはじめとした地域振興に取り組み、また、ICT戦略プランに基づき、全庁的なDX推進体制を構築していくということだが、今後DXの推進が市民サービスの向上を図る上に置いて重要な政策となってくると考えるが、具体的取り組みと今後の戦略について伺う。</p> <p>5 都市像「安心して子育てができ、子どもが健やかに育つまち」について</p> <p>(1) ライフステージに応じた切れ目のない子ども・子育ての支援について</p> <p>① 障害児相談支援の拡充、医療的ケア児の受け入れの拡充をするが、相談体制、受け入れ人数等具体的に伺う。</p> <p>② 「子どもの権利条例」の制定に向け「子ども・若者会議」を開催し、子ども・若者の最善な利益の実現を目指すということだが、瀬戸市らしい条例の制定を目指していくのか伺う。</p>	(要旨)	<p>③ 子ども・若者の支援については、ヤングケアラーに係る社会全体の理解という課題がある。愛知県の事業で、ヤングケアラー理解促進シンポジウムの開催、ヤングケアラー支援関係機関研修の実施、ヤングケアラー支援コーディネーターの配置等の事業がある。本市も積極的に取り組むべき内容だと考えるが見解を伺う。</p> <p>(2) 瀬戸で学び、瀬戸で育ててよかったと思える教育の実現について</p> <p>①一昨年から全市域において小中一貫教育が本格的にスタートした。施設分離型の学校における乗り入れ授業や異学年交流等を円滑に行っていくための工夫などの課題があるが、どのように対応されているのか伺う。</p> <p>②GIGAスクール構想に基づくICTを活用した授業を実施するが、現状の課題と具体的にどのように取り組んで行くのか伺う。</p> <p>③菱野団地内の小中学校適正規模・適正配置を進めるうえで、PTAをはじめ、地域の理解が不可欠となるが、どのように周知し理解を得ていくのか伺う。</p>

25番		長江 秀幸 議員	
項目		項目	
(要旨)	<p>(3) 多世代が子育てに関わることのできるまちづくりについて</p> <p>①先の項目の「瀬戸で学び、瀬戸で育ててよかったと思える教育の実現」の政策から切り離されたが、その真意を伺う。学校、家庭、地域の連携、協働し、地域とともにある学校作りに取り組んでいる。また、地域の教育力の向上や地域の特色ある学校づくりも進めているが、現状と今後の取り組みについて伺う。</p> <p>(4) 都市基盤整備による居住環境の魅力向上と未来に向けた良好な環境の継承について</p> <p>①子どもたちの安心・安全な通学につながる道路や歩道の整備、公園の安全性・快適性を向上するための公園施設の更新を実施するが、具体的にどのように進めていくのか伺う。</p> <p>②旧祖母懐小学校跡地に放課後児童クラブや公園の新設、民間保育園の移設を予定し、運動場部分については住宅用地として売却を決めている。地域の活性化につなげていかなければならないが、今後の取り組みについて伺う。また、その他の学校跡地の活用についての現状を伺う。</p> <p>③昨年も触れたが、都市基盤整備の課題として狭隘道路の問題がある。自治会、町内会、を通じて10路線ほどの拡幅要望があり、条件が整った路線について、拡幅整備をしているが、その後の状況を伺う。また、新たな整備方法の導入を検討するとのことであったが、検討状況を伺う。</p>	(要旨)	<p>6 都市像「地域に住まう市民が自立し支え合い、笑顔あふれるまち」について</p> <p>(1) 誰もがいきいきと、健康に暮らすことのできるまちづくりについて</p> <p>①コロナ禍において控えることが懸念される健康診査、予防接種、各種検診、の状況について伺う。</p> <p>②薬物療法による脱毛や乳がん治療による胸の形状の変化によるがん患者の心理的・経済的負担の軽減を図り、社会参加を促進するため、医療用ウィッグや胸の補正具の購入に係る費用を支援する、がん患者のアピアランスケア支援を推進する愛知県の事業がある。本市としても支援していくべきと考えるがいかがか。</p> <p>(2) 高齢者が生きがいを持って活躍し、支え合いにより、安心して暮らせるまちづくりについて</p> <p>①地域包括ケアシステムの課題として、高齢者の抱える問題が複雑化、複合化しており、公的な支援だけでは対応が困難になっている。地域住民や地域団体等とも世代や分野を超えてつながる地域共生社会の実現を目指していかなければならないが、どのように進めていくのか伺う。</p> <p>②高齢者が自家用車に依存しなくても生活できる環境の整備は重要な課題である。移動手段の実証実験を行う予定だが、本市の目指すところはどこなのか伺う。</p>

25番		長江 秀幸 議員	
項目		項目	
(要旨)	<p>(3) 誰もが自立し、地域で支え合いながら生きがいを持って安心して暮らせるまちづくりについて</p> <p>① これまでも、地域の主体的な地域自治づくりを尊重しながら、連携・協働関係を築き、人づくり、地域づくりの実現につながる支援を行ってきた。引き続き、地域団体や市民団体と協働の取り組みをしていくと思うが、せとまちトークにおいても様々なご意見をいただくが、各地域の課題、取り組み状況は明確になっているのか伺う。</p> <p>(4) 地域の生活環境の向上と安全・安心な地域づくりについて</p> <p>① 限りある資源を有効活用するため、新たにプラスチック製容器包装類の分別を実施し、資源化に取り組むが、同時に家庭系ごみ袋の価格に処理費用の一部を加える有料化の導入についての議論もある。ごみ減量の意識向上の取り組みが必要不可欠だが、どのように取り組んでいくのか伺う。</p> <p>② 地域防災力の向上については令和元年度より瀬戸市自治連合会と連携し、せと市民総ぐるみ防災訓練を行い、訓練検証会において成果と課題を共有しながら安否札の普及やせと市民総ぐるみ安否確認の提唱を全20連区で協働で行うなど、取り組みを進めてきた。近年はコロナ禍において十分な訓練が行えていないと感じるが、避難訓練等地域防災の向上の取り組みについて伺う。</p>	(要旨)	<p>③ 名古屋市等との消防指令業務の共同運用に向けて、指令管制システムの開発・整備等に着手するが、どのように消防力が強化されるのか伺う。</p> <p>(5) 誰もが生涯にわたって学び、郷土に対する誇りと愛着を深める豊かな地域づくりについて</p> <p>① 旧山繁商店の保存活用計画は策定したもののこれまでなかなか進んでこなかった。コンセプトプランを作成し、民間活力の導入や市民との協働による整備・公開を進めていくが、市民、来訪者が満足した形になっていくのか懸念する。今後どのように具体化していくのか伺う。</p> <p>7 真に効果のある障害者施策の実施について</p> <p>(1) 障害者手当廃止後の取り組みとして、瀬戸市自立支援委員会から出された意見を基に、障害福祉の増進という視点で、各部連携して事業を精査し、新たな施策を立案した。昨年度の取り組みの状況と総括を伺う。また、本年度の取り組みは当事者の視点を重視し、真に求められている事業となっているのか伺う。</p>